

- 女性泌尿器外来を開設
- 電子カルテに移行
- 小児科サマーキャンプを開催
- 救急部を移転
- 肝疾患相談支援センターを開設
- 病院給食 健康レシピ紹介
- D病棟に屋上庭園をオープン！

女性泌尿器外来を開設しました

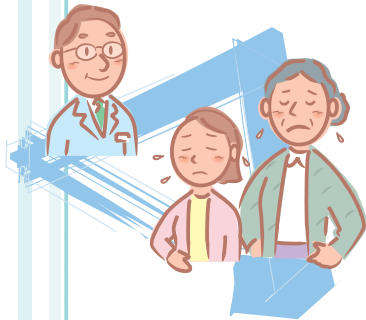
泌尿器科 准教授 荒木 勇雄

▶ 女性泌尿器外来について

当外来は、女性特有の疾患である「骨盤臓器脱」及び「腹圧性尿失禁」を専門的に治療する外来として、泌尿器科と女性診療科との合同で2010年7月に開設されました。いずれの疾患も、症状はあるものの受診をされていない潜在的な患者さんが多いことが知られています。当院ではメッシュ（シート）を用いた最新の治療を行っており、最近患者さんが急増しています。

是非、お気軽に
ご相談下さい。

荒木 勇雄



外来開設日	毎週金曜日午後（13:30～17:00）
対象疾患	骨盤臓器脱、腹圧性尿失禁 （※特に手術治療が適応となる重症例）
受診方法	完全予約制です。原則、他の医療機関からの紹介や当院一般外来からの予約が必要ですが、当面は電話での予約も受け付けています。
場所	泌尿器科外来（TEL. 077-548-2567）

▶ 骨盤臓器脱について

「骨盤臓器脱」とは、膀胱や子宮、直腸といった臓器がだんだんと下がってしまい、やがて膣から外に出てしまう病気で、40歳代以降閉経とともに急速に増加します。

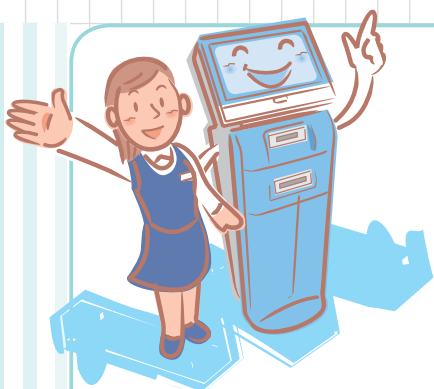
治療方法としては、膣内に器具を挿入して脱出を押さえ込む方法と手術療法があります。根本的な治療法は手術ですが、従来の手術法では重症の場合には再発率が高いことが問題でした。本院で行っている手術は、開腹することなく、膣から人工線維（ポリプロピレン）のできたメッシュを使って膣周囲の筋膜を補強する最新の手術法（TVM手術）で再発はほとんど認められません。また、子宮脱に対しても子宮を温存することが可能です。

▶ 腹圧性尿失禁について

「腹圧性尿失禁」は、尿道の支えが弱くなり、せきやくしゃみなどで急に腹部に力が入った時に尿が漏れる病気で、50歳代をピークにして幅広い年齢層の女性を悩ませます。

軽症では、理学療法や薬物療法が有効なことがあります。中等症以上では手術療法が適応となります。現在の主流は、お腹を開けることなく、膣を数センチ切開して人工線維（ポリプロピレン）のテープで尿道を支える中部尿道スリング手術です。30分程度の短時間で行える安全で簡便な手術で、治療率も90%以上です。本院では、より安全性の高まった最新のスリング手術（TOT手術）を行っています。

電子カルテに移行しました



本院は、平成22年7月20日より紙カルテから電子カルテに移行いたしました。移行期には、診察予約日の調整や待ち時間の延長など、何かとご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。今後とも、ご理解とご協力のほど何卒よろしくお願い致します。

また、電子カルテ移行にともない、同じく7月20日より再来受付機のご利用方法が以下のとおり変更となりました。

▶ 再来受付機ご利用方法の変更について



	変更前	変更後
ご利用時間	8:30～11:00	8:30～16:00
ご利用者	予約の有無にかかわらず再来の方	予約有（手書き、検査予約を除く）でかつ、保険確認3ヵ月以内の方

※再来受付機の利用に該当しない場合は、「4番 再来A窓口」へお願いします。

小児科サマーキャンプを開催しました

小児科



7月29日・30日にグリム冒険の森（滋賀県蒲生郡日野町）にて、小児血液悪性腫瘍疾患を本院にて治療され克服した子供達とご家族とともにサマーキャンプを行いました。

当日は、参加者約60名、医療スタッフ・学生ボランティアなど約30名の大規模なキャンプとなり、流しそうめん、BBQ（バーベキュー）、花火、バームクーヘン作りを行ったほか、学生中心となりパネルクイズ等が実施され、とても充実した一日となりました。

いきいきとした笑顔



抗がん剤治療や、骨髄移植等、つらい闘病生活を乗り越えた子供達が立派に成長し、いきいきとした笑顔を見せてくれたことに、参加者皆が感動し、素晴らしい時間を送ることができました。



夜には花火を行いました

これから入院される方や、現在も闘病を頑張っておられる子供達、ご家族にとって励みとなり希望となるよう、来年以降も継続したいと考えております。

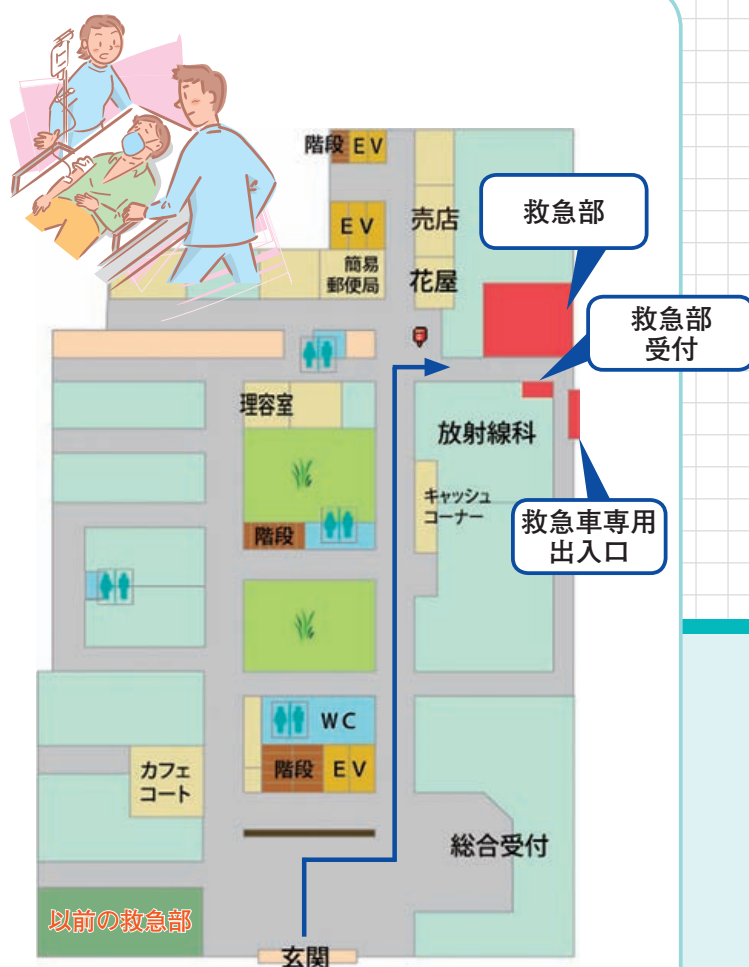
救急部が移転しました

病院再開発推進室

従来、病院玄関を入って左側にありました救急部が、平成22年8月22日に放射線科奥へ移転しました。

緊急時の連携をより強化するため、新しい救急部は、手術部、小児病棟、母子・女性診療科病棟への専用エレベーターを設置し、患者さんの直接搬送を可能としました。

また、救急車専用道路を新設し救急車出入口を移転しましたが、救急車搬送患者さん以外は、従来どおり病院玄関よりお越しください。時間外（17:00～）については、病院玄関に案内窓口を設置しスタッフが救急部への案内を致します。また、病院玄関から床導線（色矢印）や案内看板を設置いたします。みなさまにはご不便をおかけいたしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。



肝疾患相談支援センターを開設しました

肝疾患相談支援センターでは、肝疾患相談室を設け、肝疾患に関するご相談をお受けしております。まずは、お電話でご相談の内容を簡単にお伺いさせていただきますので、是非、気軽にご連絡ください。



相談担当者	肝疾患相談支援センター看護師
相談時間	毎週木曜日 13:00～17:00
お問い合わせ	☎077-548-2744 「肝疾患についての相談です」とおっしゃってください。

こんなときはご相談ください！

- ・肝疾患に関する療養上の相談をしたい。
- ・医療機関に関する情報がほしい。
- ・ウィルス検査に関することやインターフェロン助成について知りたい。など

病院給食 健康レシピ紹介

栄養治療部



病院で患者さんに提供している料理をご紹介します。
ご家庭でも是非一度お試しください。

豚肉の生姜焼き

- 材料** (4人分)
- ・豚ロース2ミリスライス … 320 g
 - ・玉葱…………… 160 g
 - ・生姜…………… 1片
 - ・濃口しょうゆ…………… 大さじ1
 - ・酒…………… 大さじ1
 - ・みりん…………… 大さじ1
 - ・サラダ油…………… 8 cc



作り方

- ① 豚ロースは適当な大きさに切る。
- ② 玉葱は3ミリの厚さに、スライスする。
- ③ 生姜はすりおろし、分量のしょうゆ・酒・みりにまぜておく。
- ④ フライパンにサラダ油を入れ、中火で豚肉と玉葱をいっしょに炒める。
- ⑤ 焼き色がつき、火が通ったら③を加え軽くからめる。



- ★生姜は面倒でも、市販のチューブではなく、生の生姜をおろし金ですりおろしてください。また、豚肉に玉葱を加えることで、ボリューム感を出す事ができます。
- ★夏バテで疲労を感じている方は、豚肉（赤身）やうなぎ、大豆などビタミンB1を多く含んだ食品に、タマネギ、ニンニク、ニラネギなどを組み合わせるとよいです。

1人分 エネルギー 280kcal 塩分 0.7g

D病棟に屋上庭園をオープン!

病院管理課

患者さんやお見舞に来られた方々などの憩いの場とし、D病棟6階レストラン「フォレスタ」横の屋上スペースを緑化し、パラソル・テーブル・椅子・ベンチ等を用意しました。季節の花や芝生に囲まれた心地よい空間となっています。是非ご利用ください!

ご利用時間：午前8時～午後5時



滋賀医科大学医学部附属病院 理念

「信頼と満足を追求する全人的医療」

滋賀医大病院ニュース第28号 編集・発行：滋賀医科大学広報委員会
〒520-2192 大津市瀬田月輪町
TEL: 077(548)2012(企画調整室)
過去の滋賀医大病院ニュース(PDF版)はホームページでご覧いただけます。

●理念を実現するための 基本方針

- 患者さん本位の医療を実践します
- 信頼・安心・満足を与える病院を目指します
- あたたかい心で最先端の医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 世界に通用する医療人を育成します
- 健全な病院経営を目指します